

女流講談会

なでしこくらぶ

毎月第3水曜日お江戸両国亭で開催

お問い合わせ先 リンクトゥモロー

03 - 5625 - 8081

なでしこ新聞

第2号

2007年(平成19年)9月19日発行

唯一の「なでしこくらぶ」公認新聞

「なでしこ新聞」編集部

編集発行人: 真鍋 透

nadeshikoclubdream@yahoo.co.jp

許可のない引用、転載はお断りします。

なでしこくらぶの公認サイト「なでしこねっと」開設 <http://www.geocities.jp/nadeshikoclubdream/>

なでしこのつぶやき

神田すみれ

なでしこファンの方々、いつもありがとうございます。弟子達の勉強のために始めた会が、この度、ホームページを作ってもらえるまでに成長するなんて嬉しい限りです。

最初の頃は、私がお客様でもこんな会には毎回足を運ばないだろうと思うくらい、みんなネタもないし、きちんとしゃべれませんでした。お客様は正直で、その頃は中々つばなれ(十にならない)もいませんでした。でも、もう始めて3年。応援して下さいお客様も定着し、平日の昼席なのにいつも大勢詰めかけて下さるようになりました。みんなそれぞれに成長し、少しずつ魅力的な講談師になったのでは?と感じます。皆さんは如何お感じでしょうか?

また色々なご意見ご感想を頂き、この会がよりいっそう魅力的な会となりますよう、応援よろしく願いいたします。

さて、去年は若い講談師の結婚ラッシュでした。残念ながら我が一門には一人もいません、あやめ、すず共々3人の中で来年こそ、すみれ一門から誰かおめでたい話が出るよう頑張ろうと言っておりましたが、もう8月、3人とも今年もそんな気配はないようです。(え、すみれさんもそうですかと驚かれそうですが、そうです、我が一門3人です。)

講談師は結婚しても子供がいても頑張れるお仕事ですから最高です!

来年の「なでしこくらぶ」での特集で、取り上げて欲しいものがありましたらお知らせください。HPの掲示板に書き込んでいただいても結構です。また、色々なご意見も(苦言も!)お願いいたします。これからもどうぞよろしく!

ご最良のみなさんからのメッセージ

「我が家の宝物」東京都豊島区 澤田栄一

「なでしこくらぶ」の一層の発展のために、私たちファンは「何を・どんなふうに来るだろうか。」たくさんのお客様に、来てもらえるように誘い合わせるくらいしか思いつかない。しかし、これもすぐ限界にぶち当たってしまう。一ファンが出来るような良い知恵を、皆さんにお聞かせ願いたい。ご協力は惜しまないつもりです。さて、今年の初めに、10回参加のご招待を頂きましたが、もったえなくて使えません。数少ない、我が家の宝物のひとつになっております。

「長生きはするもんだ」茨城県取手市 太田耕平

暑い日だった。上野で何か用事を済ませて、広小路の交差点で信号待ちとなった時、ドカンと目に飛び込んできたのが、たしか「講談と女流の集い」という内容の垂れ幕の大きな文字。「なに?女流が集まって講談が開ける?ほんとかいな」と心が動いたのが、女流講談との出会い。2年ほど前のこと。入ってみて驚いた。次々と女流講談師が登場して、それぞれの味を出しながら巧みに語っていく。何より、その一生懸命さに感動してしまった。男の世界ともいえる囲碁・将棋で、女流棋士たちが台頭してきた頃も驚いたが、「講談よ、お前もか?」(?!でなくて?)とこれまたいい意味で驚いた。以来、月に1、2回、女流講談通いが始まった。「なでしこくらぶ」などは文字通り女流だけ。着物姿の女性が、次々と語りつむぐリズム感溢れる日本語の心地よさに、つくづく「長生きはするもんだ」と思う今日この頃であります。

「楽しかったです」横浜市金沢区 山内ゆかり

横浜金沢文庫の「ふみくら落語会」で、すみれさんにお世話になっております。今日は初めて伺いましたが、とても楽しかったです。女流の方のお着物、化粧、髪型、顔、大変楽しませていただきました。また伺います。

「撫子(なでしこ)あれこれ」東京都目黒区 佐々木清治

万葉集では、夏あるいは秋に分類されていて一定していない。ナデシコは秋の七草の一つで晩秋に花をつける。石竹(せきちく)を唐撫子というのに対して、大和撫子の名もある。よく河原に咲くので河原撫子とも言う。海浜に生じ花の色から名づけられた藤撫子、一名、浜撫子というのもある。「酔うて寝む なでしこ咲ける 石の上」(芭蕉)

「なでしこ散歩ラリー」東京都中央区 高橋正昭

日本橋でも人形町あたりでも、散歩するグループに逢うことがあります。テレビでも、「ちい散歩」、「いい旅 夢気分」、「途中下車の旅」。花めぐり、水上バスなどなど、近くでも、気がつかない名所、日本橋の老舗(しにせ)めぐり。中央通りはどなたもご存知ですが、横道へ入るのは初めての方が多いと思います。その後、散歩の話が出て、老舗巡りは良かったと、何人もの方が思い出していました。歴史と文化の勉強。脳の活性化と健康の効果も一緒に吸収できる。コースの選定、下見と時間の計画。大変なお仕事とお察し申し上げます。「なでしこ散歩ラリー」これからもぜひとも参加したいと思っております。

「なでしこくらぶ」のあゆみ、メンバーのプロフィール等は、ウェブサイト「なでしこねっと」をご覧ください。